

## JD Farag 牧師 中東アップデート 2017年9月24日公開

## 「が、神は」創世記 50 章

今日は、今までで最も忙しかった週についてお話します。少なくとも、聖書預言に関しては、すごく忙しかったのではないのでしょうか。私が、これを始めてから 12 年ほどになります。この 1 週間に起こった事を通してお話しようと思います。まずは、主が私の心に置かれた次の事から始めたいと思います。クリスチャン達の間で湧きあがった事、誰も悪気はなかったと思いますが、黙示録 12 章と、9 月 23 日に起こる事になっていた星の並びについてです。6 年前の 2011 年、私も 9 月に携挙が起こると思って大興奮していました。この時期は秋の祭り、特にラッパの祭りがある為、期待が高まる時期です。同時に、当時、今から 6 年前になりますが、私は預言アップデートの中で、目を見張っている事と用意をしておくことの重要性を強調しました。主は、思いがけない時に来られるのだから、我々は常に備えて居なければならないと。私は、日を定める事だけはしないよう、非常に慎重に、かつ祈りました。私がそれを望んでいたのは、見て明らかだったと思いますが。そして、携挙が緊迫している事もお話ししました。これに関しては、皆さんもお気づきかどうか分かりませんが、ここ何年も、私がいつも話している事です。私は絶対に止めませんし、止めるつもりもありません。

ともかく、私は用意をしておくことに関して、特に強調してきました。皆さんは、いつも聞いておられるでしょうが、「携挙が今日にも起こるかのように備えておきなさい。あるいは、何年も先かもしれないが。」という言い方を良くします。私たちは、主が来られる日まで、働くのです。

しかしながら、どれだけ注意しても、何も起こらないと落胆する人がたくさんいます。感謝なのは、これの為に、主が私にとっても重要な事を教えてくださった事です。今年は特にですが、毎年 9 月は「期待が高まる時期」です。私が学んだ事を、今日はお話したいと思います。また、どのようにして、主が私に教えてくださったかもお話しします。主は、主の来られることに対して、私たちがワクワクする事を非難したりはされません。敵の言葉に耳を傾けてはいけませんよ。事実、使徒パウロはテモテにこのように書いています。彼は、人生の終わりにさしかかって、競争を走り抜いて、今は義の栄冠が待ち受けるだけとなりました。しかしそれは、彼だけでなく、私たち、主の現れを慕い、目を見張り、心を裂いて、探し求め、さらには呻いて待ち望む者には、誰にでも授けてくださると言いました。(第二テモテ 4:7-8) 主が、すぐにでも戻って来られる事で、ワクワクしている者に対して、主が非難されるなんてことは、私には想像もできません。

という事で、2011 年の後、主がとても面白い形で私に示して下さったのです。それは、ある姉妹によってもたらされました。彼女は、今はご主人と共に本土に引っ越しされましたが、当時ここに居ました。その人の話を通して、主が教えてくださったのです。2011 年、彼女は自分の兄弟を教会に招いた時、神の御言葉を聴いた後、預言アップデートが始まり、その結果彼は、イエス・キリストを知って、救われたそうです。あの年は特に、主が来られるかもしれないと、大きく期待していてその期待感が伝わったのです。そうして、彼は救われてから、まだ救われていなかった彼の妻を心配して保険をかけたそうです。彼女は救われていなかったために、何らかの形で、携挙の後、彼女が取り残された時に、それで必要が満たされるかも知れないと考えての事でした。それがなんと、その直後に、彼に癌が見つかって、

彼は主の元に召されたのです。私は、彼の昇天式を執り行いましたが、今でもよく覚えています。実にパワフルでした。何が起こったかと言うと、この事が原因で、彼の妻が救われたのです。全ては、イエス・キリストの来臨に対する、緊迫感と、期待感のおかげです。

なぜこんな事を話すかと言えば、神の御言葉は、決して虚しく帰る事はないからです。神の力を低く見積もってはいけません。いくら、彼らが予測をして日を定めたとしても、神には、それさえも用いて、人を救いに至らせる事が出来ると思いませんか？どうか元気を出してください。また皆さんにも、使徒パウロがテサロニケの人達に言ったように、この言葉をもって、互いに慰め合って欲しいと思います。

(第一テサロニケ 4:16-18) 要は、私個人的には、携挙は、現在私たちが想像している以上に、ずっと近くに迫っていると信じています。「また！先生は、毎週毎週それを言っていますよ。」・・・分かっています。これからも言い続けますよ。今週もまた言います。主が来られるのが、私たちが想像している以上に近い、と私が思う理由をこれからお話しします。

マタイ 24:44 で、イエスは「人の子は、思いがけない時に来る。」と言いました。多くのクリスチャンが、悪気はなく、主の来られるのを待ち望み、23日に主が来られると期待しました。しかし、主が来られないと、今はもう彼らは期待しないのでしょうか？だとすれば、イエスは、そういう時に来る、と言われたのです。そうですね？

私が、携挙が近いと思う理由はこちらです。皆さんは、今年の国連総会をご覧になりましたか？前代未聞です。量がたくさんありますので、どうか忍耐強くお付き合いください。預言のキャンパスに、広い筆で描いていきます。まずは、ニューヨークのFOXニュースに勤めている、私の友人であり、オンラインメンバーでもある、キャリーのEメールをご紹介します。月曜日に送ってくれたもので、総会が行われる日(9/18)でした。とても興味深いので、よく聞いてください。イスラエルの情報源より聞いたところによれば、アメリカの大統領の演説の時に、ネタニヤフが出席するのは、これが初めてだそうです。

——彼は、そこに出席すると主張したそうで、また、大統領はこの時、前列に座る北朝鮮の代表と対面する事になる。彼らから反応がないので、誰が来るかは定かではないが。もう一つ、ロシアと中国、ドイツの指導者たちは、今年の国連総会を欠席。興味深いのが、その代わりに今日(9/18)、プーチンは自身の軍隊を率いて、「戦争ゲーム」に出席しました。——

これは“興味深い”どころではありません。この総会は翌日火曜日に始まったのですから。時間の関係で詳しくはお話しできませんが、多くの演説に私は非常に驚愕しました。特に、トランプの演説、それとネタニヤフ。私には少々危惧する点があったのですが、これはまた別の機会に別の話題でお話しします。ともかく、今年の総会を通して共通のテーマは、「戦争や戦争の噂」「国は国に敵対」そして、際立ったのが、悪魔的な口撃です。まさに、悪魔のサタンの口撃でした。特に、前日行われたトランプの演説を、『無知で、バカバカしくて、嫌悪に満ちた口撃』と称した、イランのロウハーニー大統領。この言葉が、彼の口から出たのです。さらに彼は言いました。「甚だしく無根拠で、国連で聞くにふさわしくない。」それから、「もし、アメリカが核協議を離れるなら」と、脅しました。これは面白いと思いませんか？なぜ彼らは、それほどに、アメリカがバラク・フセイン・オバマの核協議から撤退する事を

心配するのか？皆さん、お分かりですよ？一体どうなっているのか？使徒パウロが言っています。

「無知になるな」と。

ところで、彼らはまたミサイル実験を行ったのを、ご存知ですか？また、「北朝鮮」という言葉を聞いたたり、北朝鮮について考える時は、「北朝鮮／イラン」として下さい。イランと北朝鮮はこの10年間、核兵器に関する資金を、共同で一つにまとめているという事を理解しておいて下さい。これは深刻です。そしてもし、あなたが北朝鮮を深刻に受け止められないなら、イランは絶対に深刻に受け止めるべきです。そして、イランと北朝鮮を、同意語とすべきです。

以上がロウハーニーでしたが、彼は、マフムード・アッバース（パレスチナ）のような者に出し抜かれはしませんでした。正直に言えば、私はこれを観ていないのです。文章で読みました。でないとな血圧が上がって、大変なことになりますから。どうやら、彼の言う、「イスラエル・アパルトヘイト」は、国連の責任だと彼は主張しているようです。さらには、1917年のバルフォア宣言に関して、イギリスに謝罪を求めています。面白いのが、修正された歴史ではなく、歴史の真実を知るなら、いわゆる“パレスチナ人”は、実際には1917年に国家を与えられたが、彼らが拒絶したのです。調べてみれば分かります。グーグルはいけませんよ。グーグルはすべてを閲覧していますから。皆さんご存知だと良いのですが。ですからグーグル以外の何かで検索してみてください。ちなみに、フェイスブックも同じです。彼らも、真実を閲覧しています。だからグーグルで調べても出てきません。他ので調べてください。他のサーチエンジンで調べれば、1917年に、実際には何があったのかが分かります。彼らに国が与えられたのは、それが初めてではありません。宣言にも書かれていますが、彼らはそれを拒絶した。彼らは国なんて求めていません。良いですか？彼らは、イスラエルとの平和なんて求めていません。彼らは、イスラエルの破滅を願っているのです。そしてそれは、私たちが何年も話してきた通り、預言的なのです。

何が驚いたかと言えば、アッバースの国連演説ではなく、国連の前に行われたトランプとアッバースの会談です。その中で、アッバースは図々しくも、「ユダヤ人とパレスチナ人との和平協議は、年内に成立可能だ」とトランプに言ったのです。「年内」ですよ。そこで情報を調べてみました。YnetNewsによれば、

——国連総会の傍らに、アッバースがトランプとニューヨークで会談。アメリカ大統領が、中東和平交渉をすぐにでも成立させることに、どれほど真剣であるかを試した。

ミスター大統領閣下。（トランプに言っています。）中東における今世紀の協議を、今年中、または神の御心ならば、来月中にも達成……

英語で読むと、“神”の御心ならば、となりますが、アラブ語では“アッラー”です。ここははっきりと言っておきます。時間をかけて説明はしませんが、アッラーは偽神、イスラムは偽宗教、モハメッドは偽預言者です。良いですね？アッラーは、エホバとは違います。彼は月の神、彼は偽神です。

これが、通訳を通してアッバースが言った事で、これに対するトランプの返事はどうでしょうか。

——一方、トランプは誓って言った。「中東に平和をもたらす為に、心と魂にあるすべてを捧げる。」——なに！？彼は本当にこんな事を言ったのでしょうか？

——（トランプ大統領）「我々は、平和を本気で探し求めている。究極は、中東全域の平和だ。なかなか良い案だと思うが、恐らく、今までで最高だろう。それを我々は目指しているのだ。」と、彼はアッバー

スとの会談に先駆けて言った。「これは、複雑な問題だ。」とアメリカ大統領は認め、「何よりも、難しい協議だろう。しかし、達成の可能性は高く、全てをかけて、(よく聞いてください)私の心も、魂も、全てを捧げて、その協議を成立させる。」——

これに私は危惧しています。なぜかと言えば、それが意味する所は、皆さんご存知ですね。「平和だ。安全だ。」「ユダヤ人と、パレスチナ人が、平和に安全に、隣り合って暮らす。」

“人々が「平和だ。安全だ。」と言っているそのようなときに、突如として滅びが彼らに襲いかかります。ちょうど妊婦に産みの苦しみが臨むようなもので、それをのがれることは決して出来ません。”

(第一テサロニケ 5:3)

それからダニエル 9:27 も忘れないでください。一旦、7年間の和平協議が成立すると…、

“彼は一週の間、多くの者と堅い契約を結び、半週の間、いけにえとささげ物とをやめさせる。荒らす忌むべき者が翼に現れる。ついに、定められた絶滅が、荒らす者の上にふりかかる。”(ダニエル 9:27)

世紀の協議、究極の協議、それを成立させるために、心も魂も注ぎ込むと、大統領が認めたのです。

——トランプは、「チームの相談役たちが、この問題に一生懸命取り組んでいる。」と言い、「イスラエルと、サウジアラビアと、他の国々と共に。」と言った。——

ここが興味深いのです。これは、サウジアラビアに関する、エゼキエル 38:13 です。再び、大統領の発言を引用して、

——「だから、私たちにまとめられるか、見ていてください。奇妙な事が起こるかも知れません。ただ、可能性は高いと思っています。」彼はさらに加えて言います。「我々は現在、非常に重要な正念場において、実に短い期間しかないが、我々に出来るかどうかやってみます。」——

ここで彼が言った言葉が、私はとても気になります。つまり訳せば、「鉄は熱いうちに打て。」そして、鉄は今熱いのです。だから、もうすぐ打たれると私は思います。協議が、間もなく打たれるでしょう。なぜなら、窓が閉ざされようとしているからです。時は、今です。アッパーズが言っています。他の皆も言っています。他のアラブ諸国も言っています。特にサウジアラビア。そもそもこれは、ある意味、彼らの協議でもありますから。

さてこれは、いくつもあるうちのほんの一つなのです。何故かと言えば、これらは全て、ロシアが国連を欠席している背景で起こっている事ですから。それが目立ちますが、しかし、ロシア兵はシリアには、駐留しています。ニューヨークでこれらの事が起こっている間に、大きな進展がありました。しかもその大部分が気づかれず、さらに報道もされていません。特にここアメリカでは。何の事を言っているのかというと、恐ろしい脅威が起こっていたのです。ロシアが、シリア国内でシリアの為に、誰に対して行ったか分かりますか？私たち、アメリカ合衆国に対してです。「何!？」ご存知なかったですか？そうです。今、ロシアはアメリカを脅しているのです。

では資料に戻って、木曜の YnetNews です。

——「ロシアは、彼らが援護している、シリアの戦士たちを挑発するなら、アメリカを標的にすると脅

迫。」ロシアは、シリア内のアメリカ特殊部隊のいる場所を標的にすると、アメリカ合衆国に警告した。——

どうか、我々の軍の為に祈りください。軍隊の為に、どうぞ祈りください。それから、警察官の為に、どうか祈りください。お願いします。

——「もし、向こうから攻撃があれば、アメリカ特殊部隊のいる場所と、アメリカが援護する民兵が展開している場所を、攻撃する。」——

つまり、我々の方から発射した場合だけですね？なら、大丈夫ですよ？

まだそうとは言えません。もうすでに、2回起こっているのです。そして現在、ロシアが「これまでに。」と言っているのです。「次やれば、我々は攻撃する。」と。これは、イエスが言われた、「戦争と、戦争のうわさ」もしくは、「戦争と、戦争の脅し」です。訳によって異なりますが。(マタイ 24:6) 現在、北朝鮮が脅し、イランが脅し、ロシアが脅し、アメリカが脅しています。皆が皆を脅しているのです。長男が、この間私に「彼らは、お互いに脅迫しあって、自分達で戦争を作り出しているよね？」と言いました。だから私は、「まったくその通りの事が起こるんだよ。」と答えました。それが起こった時、私はここに居る予定はありませんが。皆さんも、そうである事を願います。そうですね？

という事で、もうすでに2回起こったかも知れませんが、HAARETZによれば、

——ダマスカス国際空港の地域で、多数の攻撃が行われており、それらはイスラエルによるものだ、と見られている。——

これご存知ですか？これは金曜(9/22)の早朝の事ですが、イスラエルが、空港近くの武器庫を爆破した事による爆発の様子が、ソーシャルメディアに投稿されました。

——未確認の報告によれば、シリアの空軍防衛隊が、その地域に居たイスラエルの航空機に報復したとのこと。ヒズボラは、この取りざたされている出来事に関して、まだ、コメントしていない。イスラエルは、ヒズボラに送られる途中の武器を攻撃。いくつものイスラエル部隊は、過去5年間に何十回も行っている。数週間前、イスラエルの司令官長が初めて認めた。イスラエルが、このような運搬を攻撃するのは、……——

これが興味深いのです。これはシリアの話ですよ。イザヤ書 17 章、エゼキエル 38 章です。

*“見よ、ダマスコは取り去られて町でなくなり、廃墟となる。”(イザヤ 17:1)*

その町は、破壊され廃墟となる。これは預言です。そのレンズを通して、これを見てください。

——2012 年以來、イスラエルが、このような運搬を攻撃した数は、“3 桁”に近づいている。——

つまり、100 回以上という事ではないですか？100 回以上？はい、つまりこういう事です。

今、これらの全ての中に見えるのは、預言のパズルのほんの 1 ピースです。これまで起きては過ぎて行った他の多くの事が、これら全てと協調しました。多くの預言パズルのピースが、はまっていています。それも産みの苦しみのように、どんどん激しく、どんどん頻発しています。私は 35 年以上主と共に歩んでいますが、このようなのは、見たことがありません。しかも現在、世界中で、地政治的にすべてが揃い始めただけではありません。現在、世界中のあちこちで、自然大災害が起こっています。とても悲しい事だと思いませんか？見るに耐えかねます。

さて、こう言った自然災害は、これまでもあったじゃないか、と言う方も居るでしょう。これまでも地震はあったし、ハリケーンもあったと。そうです。しかし、これは違います。今、現在起こっているこれらの全ての範囲や規模は、歴史的で、預言的です。統計を聞くと、これは千年分の嵐だそうです。千年です！また、これは前代未聞で、このような嵐はこれまでありませんでした。考えさせられますか？私は考えさせられます。このハリケーンに加えて、続く地震。私たちには、実に多くの人々が、絶望する姿を見えています。なのに、ここではインターネットが繋がらないと、我々は激怒します。テキサスやフロリダの兄弟姉妹は回復するにしても、それまでに何年もかかるのです。たくさんの方が亡くなりました。プエルトリコはどうですか？実に酷かった。

昨日、準備をしている時の事です。私はとても慎重にこの言葉を使いますが、今日の預言アップデートの準備をしていた時、早朝でしたが、緊急速報で、またメキシコで地震が起きたと言います。マグニチュード8、それから7、そして6。それぞれ1日の内にです。死者数が、増え続けるのを見ていると、もう耐えかねます。これらは人ですよ。誰かの母親、父親、息子、娘、兄弟、姉妹。人なんです。時に私たちは、あれやこれやと、物事に囚われ過ぎて、麻痺してしまいます。カテゴリーだなんだ、マグニチュード7だとか8だとか。でも、これらは人の命なのです。

つまり、いったい何が起こっているのか？私が安易なのかも知れません。でも、これはイエスが言われた事です。預言的な「産みの苦しみ」だと。そして、「産みの苦しみ」と言えば、一旦始まると、止まりません。一旦始まると、あとは時間の問題です。それが、これら全ての向かっている先ではありませんか？そして、私がこれらを通して導こうとしているのも、そこです。

神の御言葉は、預言に次ぐ預言、預言で満ちています。いくつかの預言は、ものすごい詳細に書かれていて、それが起こる前に、何が起こるかを私たちに告げています。イエスは言われました。

*“今わたしは、そのことが起こる前にあなたがたに話しました。それが起こったときに、あなたがたが信じるためです。”* (ヨハネ 14:29)

これらの預言の中には、2500年以上も前に預言されたものもあります。それが今、私たちの目の前で、ものすごい正確、かつ的確に起こっているのです。

次に、これら起こっている事のどれもが、不安にさせるものである事、さらには恐怖である事は、理解できます。クリスチャンであっても、です。クリスチャンにとってもそうでしょう。しかし、最後に次の2つの言葉をもって、終わりたいと思います。この2つの言葉が、何であるかは、皆さんすでにご存知でしょう。この2語が全てを変えます。

### 「BUT GOD／が、神は」

「が、神は」です。神はこれら、現在世界中で起こっている事全てを用いて、多くの人々の救いをもたらそうとしておられます。今朝、ここへ来る途中に考えていた事があります。家から教会まで22分かかりますが、これが、祈り、神と語る、絶好の時間なのです。今朝、私が考え、神に語っていたのは、「最後の異邦人が救われるまで、私たちはどこへも行かない。」という事です。そうですよね？なら、

その最後の異邦人は、どこの誰なのか？そこで、私が言いたいのは、もしあなたが、今日ここに居て、最後の異邦人だったとしたら、お願いですからその手を離して、救われてください。私たちは家に帰りたいのです！冗談っぽく言っていますが、私はいつも思うのです。最後の異邦人となった人は、天国で保護観察されるんじゃないかと。皆が「お前か！」「お前だったのか！」となる？もちろん、そんな事にはなりません。そんな事を考えてしまいませんか？

ともかく、その最後の異邦人が救われるまでは、私たちはどこにも行きません。そのラッパは鳴りません。ただ、考えてみてください。最後の異邦人が、間もなく救われようとしているなら、私たちは手を伸ばし、主に導くことを躊躇いたくありませんね？私たちが、その最後の異邦人に伝えるのかも知れませんかよ？その人が、異邦人の時を完成させると、私たちはここを出ていくのです。私たちは、ここを出て行きます。私の大好きな「が、神は」は、創世記 50 章に出てきます。19-21 節をお読みしたいと思います。

ここで、ヨセフはパロを救って、世界で最も力のある人物となりました。その時、彼の兄弟たちは『7 年』の飢饉の中に居て、彼らはまだ、その人物が自分の兄弟だとは知りません。彼らが知っていたのは、ただ、自分たちの父親に必要なものを持って帰るには、この男（ヨセフ）の所に行けばよい、という事だけです。それはヨセフの父親でもありました。そして彼は、自分の正体を、兄弟たちに明かそうとしています。兄弟たちは、自分たちのしたことの為に、激しく恐れるはずですが、自分たちが犯した全ての悪の為に。ちなみに、ヨセフはキリストの型です。ヨセフが、キリストの型である事を示す箇所は、100 以上あります。その一つは、中でも私の大好きな箇所です。ヨセフは、『7 年』の飢饉の前に、異邦人の花嫁をめとりました。私は、いつもこうして『7』を表す時、とても気を付けていますが、ともかく、7 年の飢饉の前に出てきた後、それ以降一度も出てきません。これは、7 年の大患難の前に起こる携拳の型です。ヨセフはキリストの型。そして、ヨセフは自分の兄弟たちに言った事を見てください。

“ヨセフは彼らに言った。「恐れることはありません。」——”（創世記 50:19）

もしかしたら、今日ここに居るどなたかの為の言葉かも知れませんね。「恐れるな。」そして彼は修辭的にたずねます。

“どうして、私が神の代わりでしょうか。あなたがたは私に悪を計りました——”

ここで、この 2 語の登場です。これが、全てを変えるのです。『が、神は』

全てのハリケーンも、全ての地震も、全ての悪、言葉にも出来ないような全ての不品行も、悪も、反クリスチャンも、反イスラエルも、反教会も。今、起こっているこれらの全ては、どんどん、どんどん暗くなっていく世が、悪を計っています。『が、神は』が、神は！これが全てを変えるのです！その中に、『が、神は』を入れるのです。その意味が分かりますか？その意味が何か、お答えしましょう。

“あなたがたは私に悪を計りました『が、神は』それを良いことのための計らいとなさいました。”  
(創世記 50:20)

「良いことのため」です。それがどれほど悪くても、関係ないのです。神がどのようにされるのか、私には分かりません。ただ、私には、神がそれをされる、という事だけは分かります。神には、悪い事を用いて、良い事をもたらすことが出来るのです。

“—それは、きょうのようにして、多くの人々を生かしておくためでした。” (創世記 50:20)  
多くの人々がキリストに立ち返っています。『が、神は』それが理由です。  
そしてヨセフは、また言います。

“「ですから、もう恐れることはありません。私は、あなたがたやあなたがたの子どもたちを養いましょう。」 こうして彼は彼らを慰め、優しく語りかけた。” (創世記 50:21)

このために、私は先ほどガラテヤ人への手紙の学びで、お話ししました。私たちは、その人が実際に直面している事を知れば、もっと相手に優しくなれる。その瞬間の彼らの立場になって考える事が出来れば、私たちは、もっと相手に情をかける事が出来る。私たちは、もっと相手を慰めるでしょうし、もっと相手を愛するでしょう。もっと相手に優しくなれるでしょう。

最後は、いつものように、福音を伝えて終わりにしたいと思います。

「イエス・キリストによる救いの良い知らせ」今日もまた、「救いの ABC」でお伝えします。



**A=Admit/認める、Acknowledge/認識する**

単に、自分は罪人であると、認める、認識する。あなたは神に対して罪を犯したと、認めるのです。ローマ 3 : 10 には、こうあります。

“「義人はいない。ひとりもない。」”

ローマ 3 : 23 には、こうあります。

“すべての人は、罪を犯したので、神からの栄誉を受けることが出来ず”

そして、ローマ 6 : 23 には、悪い知らせと、良い知らせがセットになって入っています。悪い知らせが悪いほど、良い知らせがより良くなるのです。悪い知らせとは、こちらです。しかも、これはものすごく悪いです。

“罪から来る報酬は死です。”

これが悪い知らせ。良い知らせを聞きたいですか？

“しかし、神の下さる賜物は、私たちの主、キリスト・イエスにある永遠のいのちです。”

**B=Believe/信じる**

イエスが主であると、心で信じる。これはローマ 10:9-10 です。そこにはこう書かれています。

“あなたの心で神はイエスを死者の中からよみがえらせてくださったと信じるなら、あなたは救われるからです。”

**C=Call/呼び求める、Confess/告白する**

主の御名を呼ぶ、もしくは告白する。ローマ 9:9-10 には次のように書かれています。

“もしあなたの口でイエスを主と告白し、あなたの心で、神はイエスを死者の中からよみがえらせてくださったと信じるなら、あなたは救われるからです。人は心に信じて義と認められ、口で告白して救われるのです。”

そして最後は、ローマ 10:13 です。これで全てを封印します。

“「主の御名を呼び求める者は、だれでも救われる。」”

もし、これまで主の御名を呼び求めた事がないなら、どうか今日、呼び求めてください。

祈りましょう。

主よ。あななの民の忍耐に感謝します。今日は少し長くなってしまいました。彼らの、あなたとあなたの御言葉に対する愛に、感謝します。彼らの義への飢え渴きに感謝します。主よ、特に今日ここに居る人、もしくはオンラインでこれを見ている中で、聖霊の力によって語られた人、心がほぐされ、心が突き刺された人、あなたが、イエス・キリストにある救いの真実を明らかにされた人、彼らが今日、あなたの御名を呼び求めますように。今日が、彼らの救いの日となりますように。そして今日、彼らが自由になりますように。

“御子があなた方を自由にするなら、あなたがたは本当に自由なのです。” (ヨハネ 8:36)

イエスの御名によって祈ります。アーメン。

---

このメッセージはカルバリーチャペル カネオへの JD ファラグ牧師が公開したメッセージを、アメリカ在住の日本人クリスチャン木下言波が翻訳して YOUTUBE やブログに上げたものを文字化したものです。リアルタイムで知りたい方は、Calvary Chapel Kaneohe (英語)、「DIVINE US」(日本語)を検索してください。世界的なインターネット規制が始まろうとしています。私達はその日のために、文字にして紙に記録する必要を感じました。また、インターネットに不慣れな方や字幕を追って読むのが困難な方のためにも必要があると主に迫られたと感じます。

※インターネットのメッセージを、文章化するこの働きを始めた姉妹が、現在目を患って治療中です。どうか、りょくさんの為にも、お祈りください。

---

「きょう、もし御声を聞くならば、あなたがたの心をかたくなにはならない。」

へブル 4 : 7

メッセージ by JD Farag 牧師 カルバリーチャペルカネオヘ <http://www.calvarychapelkaneohe.com/>

Calvary Chapel Kaneohe

47-525 Kamehameha Hwy. Kaneohe, Hawaii

訳 by 木下言波 DivineUS : <https://www.youtube.com/user/TheDivineUs>

筆記 by まい